

DXを実践できる人材・組織を育成する 実務型DX研修支援サービスご紹介

DXの要素技術に関する知識の習得に閉じず、業務への適用まで通して学ぶ設計とすることで、人材の即戦力化を狙う研修を提供いたします。

DX(Digital Transformation)はさまざまな企業における喫緊の経営課題であるものの、成功に至っていると自認する企業はいまだ少数のままです。

ご参考: [総務省「デジタル・トランスフォーメーションによる経済へのインパクトに関する調査研究の請負 報告書\(2021年3月\)」](#)

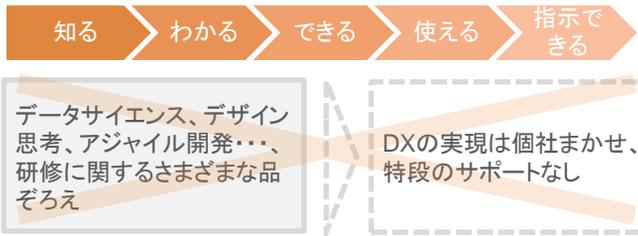
DX人材の育成には知識習得と実践支援の両方が必要です！

- DX人材を育成したいのに、ITやデータ利活用など要素技術の知識ばかり社員に詰め込んでいませんか？求められているのは、それら知識を使いこなしてDXを実現する人材のはずです！

(路上教習をせず、教科書による知識の習得だけでは、自動車を運転できるようにならないのと同じです。)

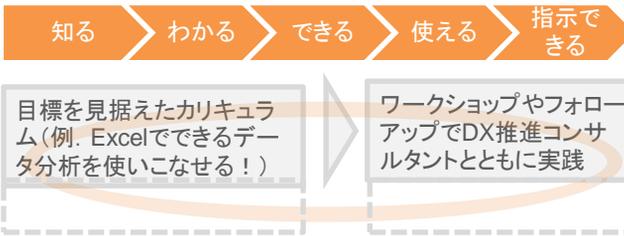
一般的な研修会社の提供サービス(例)

大量の知識をインプットしても使える道筋が見えないと学習意欲も低下



当社が提供するサービス(例)

スコープを限定して使える道筋をウォークスルーすると実感が得られる



ご参考: [DXはDとXの共進化](#)

実務型DX研修支援サービスの進め方(例)

- 研修事業とコンサルティング事業を併せ持つ当社が、DXの要素技術に関するインプットから業務に定着させるサポートまで、一気通貫で伴走いたします。
- 貴社の事業目標や人材像のゴール、受講者の現状のスキルや予算感などを踏まえた研修の全体像を設計し、ご提案いたします。一般的な流れは下図となります(詳細は次ページ)。

Phase 0. Program Design

- 目標や現状のスキル、予算感などを踏まえた研修の全体像を設計します。

Phase 1. Input

- 座学やe-learningにより、必要な知識を受講者に習得していただきます。

Phase 2. Workshop

- 受講者が業務課題等を持ち込み、解決に向けた議論をする場を提供します。

Phase 3. Follow-up

- 受講者がDX人材として一人立ちするまでのサポート体制を提供します。

- より貴社の事業におけるDXを促す切り口でのコンサルティングサービスの紹介は、[DX実現への第一歩を踏み出したい企業を支援する伴走型アプローチのご紹介 \(murc.jp\)](#) をご参照ください。

Phase 0. Program Design

- 例えばデータ利活用では、データを分析すること、またはデータ自体に着目しがちですが、大事なのはビジネスや業務の課題を解決できることです。データ分析そのものの技術・スキルだけでなく、データを活用して業務の課題を解決する一連の流れを体感することが不可欠です。
- 貴社の目標や受講者の現状のスキル、予算感などを踏まえつつも習得すべき技術やスキルの全体感を適切にとらえた上で研修の全体像を設計・提案いたします。



Phase 1. Input

- 設計した研修カリキュラムを基に、必要な知識を受講者に習得していただきます。
- 研修は座学やe-learningで提供いたします。実施イメージは以下：
 - [よくわかるDX導入と活用の仕方 \(squet.ne.jp\)](http://squet.ne.jp)
 - [オンデマンド動画「よくわかるDX 導入と活用の仕方\(財務・経理業務編\)」ご紹介 \(youtube.com\)](https://www.youtube.com)
 - [オンデマンド動画「よくわかるDX 導入と活用の仕方\(営業・マーケティング編\)」ご紹介 \(youtube.com\)](https://www.youtube.com)



Phase 2. Workshop

- 基本的な知識・スキルを習得しただけでは、それらを活用した課題の解決に至らないことが多いです。実際の課題解決を体験する、実践的な場を提供いたします。
 - 受講者に自業務における課題やデータを持ち込んでいただきます。
 - 当社コンサルタントが解決をサポートします。
 - プロジェクト推進、全体ファシリテーションなどを担務
 - 機能毎のコンサルタントをアサイン、専門的な知見から解決方針なども提供
 - 受講者間でも議論し、互いに教えあうことでさらなる成長も期待できます。

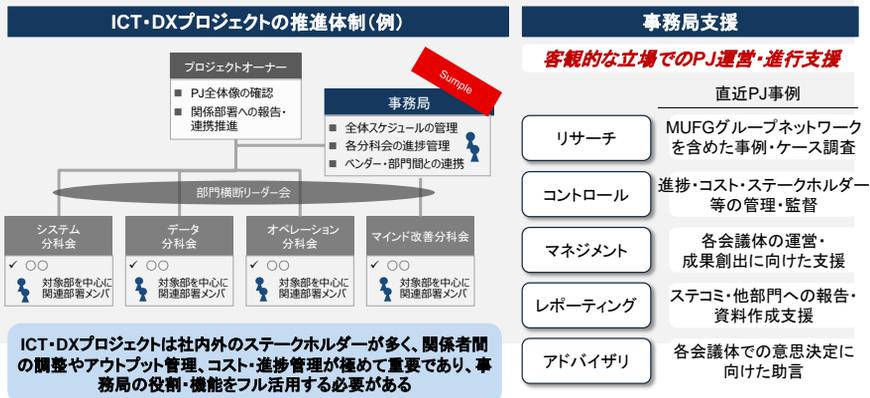


Phase 3. Follow-up

- 受講者自ら貴社の課題を解決できることが長期的な目標ですが、短期的には伴走者が必要なはずですが。
- Phase2の中間・最終報告会を含むさまざまな機会に貴社へのアドバイザーに何う形式でもご支援いたします。

- 利害関係者が多くなるDXプロジェクトの推進には事務局機能が必要となることもあります(右図)。この事務局のご支援もいたします。

- 他に、貴社要員のみでは手が足りない大規模データや複雑な分析のトライアル、全社データ基盤・BIツール導入、各種ITシステム設計・開発などの案件についても、ご相談を承ります。



ご相談から企画提案のご依頼までお気軽にお問い合わせください

お問い合わせはこちら

※上記ボタンをクリックすると、当社問い合わせフォームに遷移します
※紙でご覧の方はQRコードをお使いください

